

イエス様が生まれた所では

いま 今までに 語られる ことの なかった、とても すてきな お話。

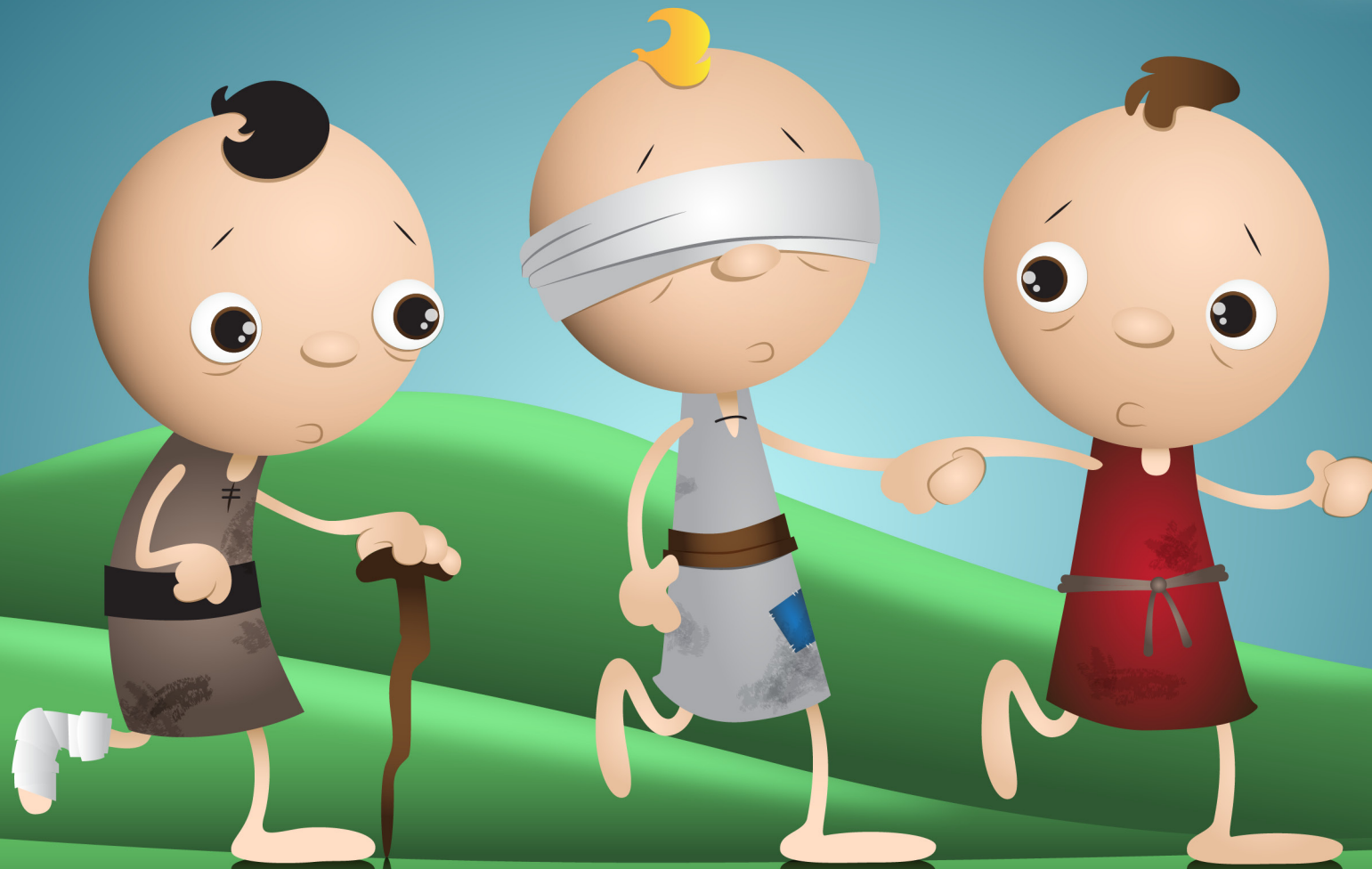
むかし 昔の 3人の 博士たちなら 知っているかも。

かな 悲しみを かかえた 3人の 子どもたちが 夜明けに やって来た。

イエス様の お生まれになった 所に やって来た。



ひとり 一人は 目が 見え^めず、もう一人は 足^{あし}が 不自由^{ふじゆう}で 走り回^{はし}れない。
あとの 一人^{ひとり}は 口^{くち}が きけ^{ひとこと}ず、一言^{はな}も 話^{はな}す こと^{こと}が でき^きなかつた。
だ^{にん}けど 3人^{しゅ}は 主^{ほし}の 星^{みちび}に 導^きかれて やつて来た。
すやすや ねむる 幼^{おきなご}児^ごイエスを 一^{ひと}目^め 見^みようと やつて来た^き。





だけど、希望に満ちた祈りを聞いて、
愛らしいキリストは目をさました。

地上に神の平和をもたらす

キリストの誕生を喜ぶ賛美を聞いて、ほほえんだ。

とびらから ^{あか}明るい ^{ひかり}光が さしてくると、
足の ^{あし}不自由だった ^{ふじゆう}子どもは、再び ^{ふた}自分の ^{じぶん}足で ^{あし}
まっすぐ ^た立った。

口の ^{くち}きけなかった ^こ子どもは やさしい ^{うた}歌を ^{うた}歌い、
目の ^め見えなかった ^こ子どもは、幼い ^{おさな}王を ^{おう}見て
^{よろこ}喜びに ^み満たされた！

ーチャールズ・W・H・バンクcroft

